茼蒿

一種オランダヂサ、一名ハナヂサ、キクヂサ、葉ニ花岐多シ、生食煮食並ニ佳ナリ、一根ニ叢生ス、冬末春初最繁クシテ、千葉牡丹花ノ形ノ如シ、漸ク薹ヲ起スコト二三尺、葉互生ス、葉間ニ枝ヲ抽コト長シ、夏ニ入テ葉間ゴトニ花ヲ開ク、形蒲公英花ニ似テ深藍色、朝ニ開キ午前ニ色變ジテ萎ム、蕾ハ葉ゴトニ多ケレドモ、日ニ一花ノミ開ク、後實ヲ結ブ、形同蒿子（シュンギクノ）ノ如シ、紮ヲナサズ、是モ亦蒿苣ノ一種ナリ、

〔和爾雅七菜蔬〕茼蒿（カウライヒク）又名蓬蒿（シュンギク）

〔書言字考節用集六生植〕茼蒿（シュンギク　カウライヒク）

〔和漢三才圖會九十九草〕同蒿　蓬蒿形氣同乎蓬蒿、故名、俗云高麗菊、又云春菊、春開花似菊、故名之、○中略

按同蒿潔莖葉食脆美、然夏菊未開時有之、故賞花不爲蔬、一苅後自生、秋、六七月開花亦美也、

〔物類稱呼三生植〕茼蒿をゆんぎく　近江彦根にてろうまといふ、京大坂にてかうらいぎく、又きくなともいふ、關東にてをゆんぎくといふ、

〔重修本草綱目啓蒙十八草辛〕同蒿　シユンギク　カウライギク　京　ムジンサウ　雲州　フダンギク　勢州　キクナ　デシコルスン　共同上　フダンサウ　肥後　ロウマ　長州　ロウマギク　防州　ツマジロ　加州　サツマギク　濃州　リウキウギク　讃州　ヲランダギク　阿州　ノビスマ　伊州　シユンギク　東國　シンギク　中略　越前○

秋月種ヲ下ス、葉ハ初生茵蔯葉ノ如ニシテ毛ナシ、冬春ノ間コレヲ食フ、春ニ至リ薹ヲ起ス、高サ一二尺、葉互生三月枝頂ニ花アリ、單葉菊花ニ似テ大サ一寸餘、瓣ゴトニ本黄末白ク内ニ黄心アリ、又全ク黄色ナル者アリ、又本白クシテ末紫ナル者アリ、ツマクレナヰト呼ブ、一種細葉ニシテ茵蔯蒿ノ梢葉ノ如ク、白花ヲ開ク者アリ、ギンカウライト云フ、一名シヲギク、チヤウセンギク、カホヨギク、松前ギク、